

スーパービジョン研修

開催要綱

趣旨 少子高齢化、地域における個人や世帯の孤立、共働き世帯の増加など福祉ニーズは昨今、多様化・複雑化しています。地域共生社会の実現を推進し、様々なニーズに対応するためには、社会福祉施設等が地域住民や多職種・多機関と連携することが不可欠となっており、まさに専門職や福祉サービスの質の確保・向上が求められていますが、そのためには職場において、知識・経験の豊富な先輩・上司などからの確かなスーパービジョンを受けることが必要です。

本研修では、講義や演習を通して、スーパービジョンについて基本的な理解を深めるとともに、組織として実践するスーパービジョンの意義やその方法について学びます。

1. 講義と演習によりスーパービジョンを体系的に学べます

スーパービジョンの定義や機能等について講義を受けた後、グループ演習で具体的な事例に取り組むことで、スーパービジョンについて改めて体系的に学べます。

2. 職場リーダーに求められる対応力の向上をめざします

演習の中で、具体的な事例についてスーパーバイザーとして取り組むことで、対人支援職員のバーンアウト防止等、スーパービジョンの留意点を改めて確認しつつ、スキルの向上をめざします。

3. 参加型研修です

研修中に、自身の考えをまとめて表現したり、他者の考えに耳を傾けたりする時間を設けるため、主体的に受講することができます。

開催形式

オンライン（WEB 会議システム Zoom ミーティングによるライブ配信）

対象

社会福祉施設および事業所（高齢・障がい・児童・保育・市町村社協）において指導的立場にあり、現に組織における指導・助言・支援（スーパービジョン）を行っているおよびその予定がある職員

定員

60名

日程

令和6年8月28日（水）、8月29日（木）

申込期間

令和6年6月10日（月）～7月8日（月）

研修費用

会員・準会員 10,000円 非会員 18,000円

受講可否

令和6年7月12日（金）までにご連絡します。

プログラム

	日程・時間	研修科目	研修内容
1 日 目	9:30~10:00	受付	WEB 会議システム「Zoom ミーティング」入室
	10:00~10:10	オリエンテーション	日程、資料等の確認
	10:10~12:00	講義 1 スーパービジョンとは	スーパービジョンの定義と3つの機能等を学びます。
	12:00~13:00	休憩・昼食	
	13:00~16:30	演習 1 スーパービジョンの理解	日常業務の中で行っているスーパービジョンを意識・理解するとともに、事例を活用しながら、スーパービジョンの形態等を理解します。
2 日 目	9:00~ 9:30	受付	WEB 会議システム「Zoom ミーティング」入室
	9:30~12:30	講義 2 スーパービジョンのあり方 演習 2 グループスーパービジョンの体験	前日の振り返りを行うとともに、事例を活用して、グループスーパービジョンを体験します。
	12:30~13:30	昼食／休憩	
	13:30~15:30	演習 3 スーパービジョントレーニング (フィードバック)	フィードバックのトレーニング方法を学び、フィードバックの体験を通して、その必要性と活用を考えます。
	15:30~16:30	研修まとめ	対人支援職員のバーンアウト防止等、スーパービジョンの留意点を確認し、本研修を総括します。

※本研修は、対象施設〔児童養護施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、児童心理治療施設、乳児院〕における処遇改善加算区分〔IV-イ〕該当研修です。詳細については、北海道・札幌市担当所管等あてご確認ください。